

【越前町本庁舎整備 概要版】

設計方針

① 町民が利用しやすい庁舎

誰もが使いやすいデザインを徹底することで、すべての人が直感的に利用できることを目指します。
1階のワンフロアに窓口部門をまとめて配置することで、開かれた、分かりやすい、使いやすい庁舎を目指します。

② 町民の安全と安心を守る庁舎

構造体の耐震性能確保に加え、天王川氾濫による浸水への対策、災害時に対策本部として機能できる会議室など、非常時の機能維持を確保します。

③ 機能的で効率的な庁舎

柱間隔を広くすることで、各課配列の自由度を高め、将来の組織改編等に柔軟に対応できるよう、配慮します。

④ 環境と経済性への配慮

自然採光の取り込み、遮熱、断熱化、地熱利用など風土の恵みを取り入れることで、省エネルギー化を図ります。また経済的な材料や工法の選定による建設工事費の削減を目指します。

計画敷地面積	： 17,399.31㎡
構造	： 鉄骨造
階数	： 3階建て（一部4階建て） 地下なし
延床面積	： 約 5,700㎡



国道 417 号からの外観イメージ

配置計画

① 分かりやすい構内通路の設置

敷地東側に構内通路を設け、敷地内における南北の動線として活用します。

② 生涯学習センターとの連携

生涯学習センターに隣接し、渡り廊下で繋ぐことで連携を高め、スムーズな会議室等の共通使用などが可能になります。

③ 広くゆとりのある駐車場

国道側に広い駐車場を確保することで、各種イベントに対応できます。また、庁舎側の駐車場には通常より広めの「ゆとりの駐車場」を設置し、高齢者や運転初心者の方でも利用しやすい計画にします。

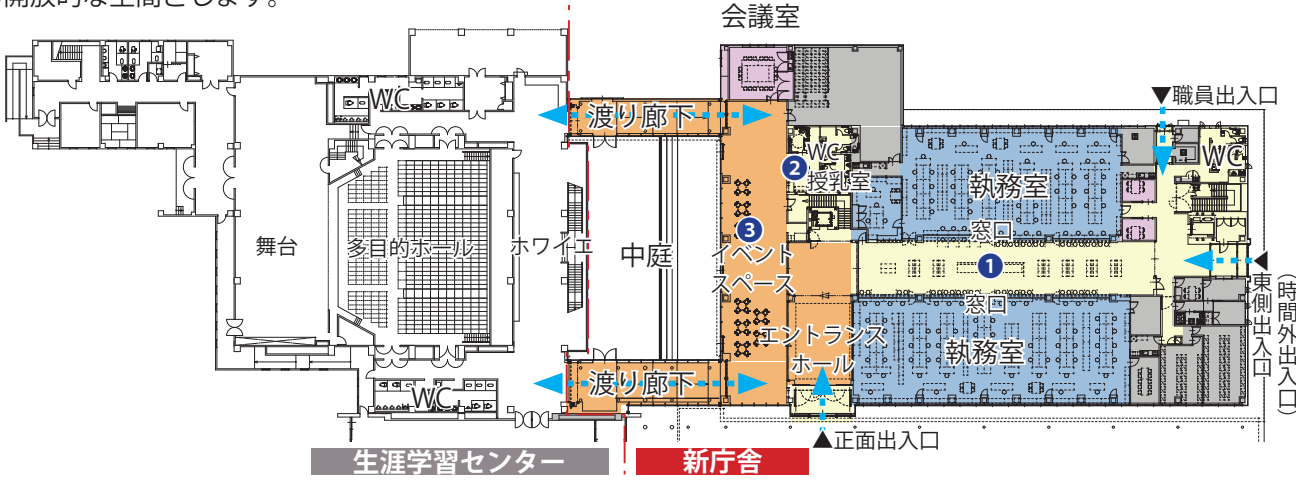


配置図

平面計画

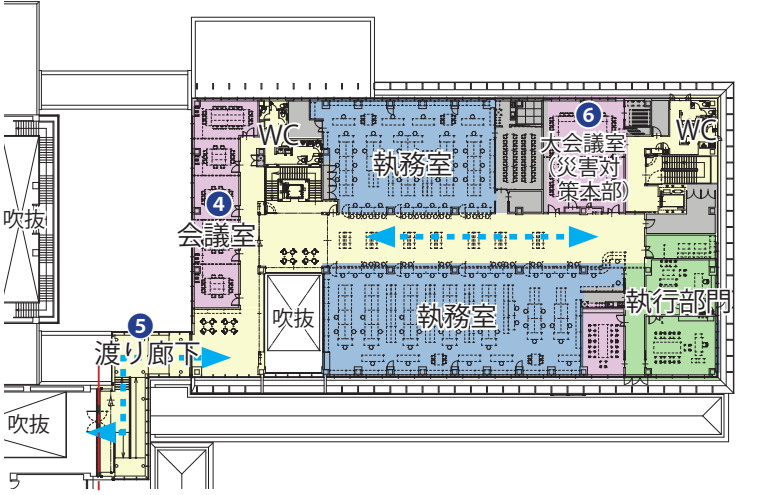
1階 窓口・執務室フロア

- ①ワンフロアの仕切りのないオープンスペースの窓口とすることで、町民が利用しやすい行政サービスを目指します。
- ②子育て中の方にも利用しやすいよう、授乳室、キッズコーナーを設けます。
- ③様々な活動に利用可能なイベントスペースを設け、エントランスホール、中庭、ホワイエと一体的に活用できる開放的な空間とします。



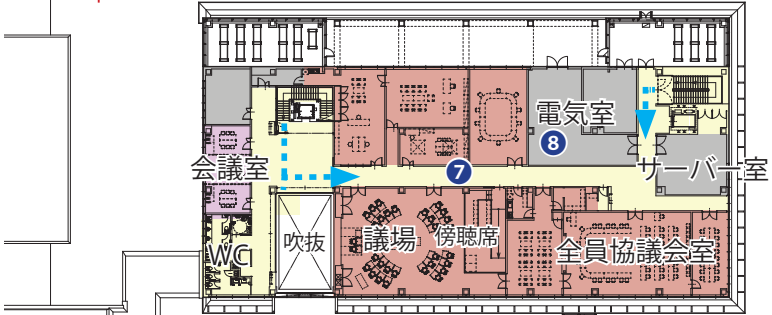
2階 執務室・会議室フロア

- ④可動間仕切を整備した会議室を設けます。
- ⑤生涯学習センターと往来できる渡り廊下を設け、円滑な移動を可能とします。
- ⑥災害対策本部と執行部門、関連部署は、災害時に迅速かつ確かな情報伝達ができるよう集約配置します。



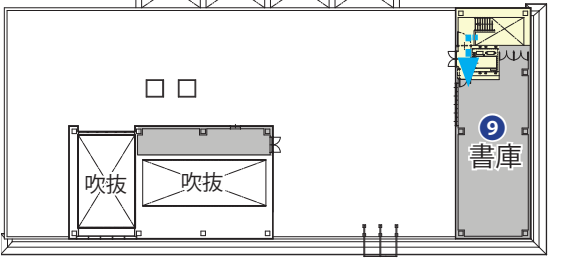
3階 議会・設備フロア

- ⑦議会の独立性を保つため諸室等を集約して配置し、スムーズな動線を確保します。
- ⑧電気室や自家発電電気室、サーバー室の重要設備を上階に配置し、水害に対応できる計画とします。



4階 書庫フロア

- ⑨庁舎東側の一部に文章保管のための書庫を設けます。大きな台車も乗降出来るエレベーターによりスムーズな運搬動線を確保します。



財源計画

本庁舎整備には、合併特例債を財源として活用します。

●合併特例債

充当率 95%

交付税算入率 70%

※償還額の70%が普通交付税に算入されます。

●算 出 例

例えば、20億円の事業に財源として合併特例債を活用した場合

町費 1億円

借金(合併特例債) 19億円

借金のうち、70%にあたる 13億3,000万円 が、交付税に算入されるので、

町が実質負担する額は、 6億7,000万円 で済みます。